

ご利用案内

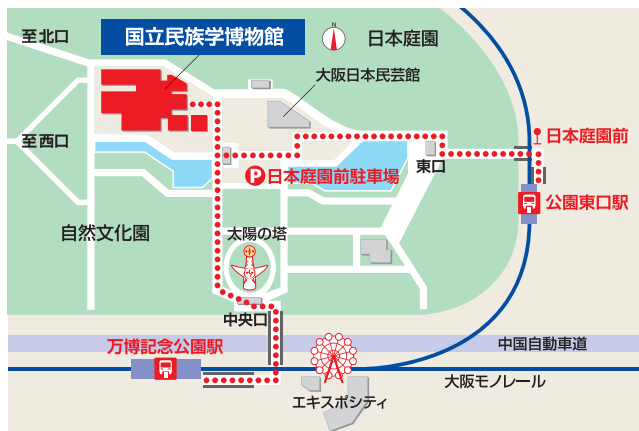
開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 水曜日 (水曜日が祝日の場合は翌日が休館)
年未年始 (12/28～1/4)

観覧料	本館展示	特別展「復興を支える地域の文化—3.11から10年」※ 特別展「ユニバーサル・ミュージアム—さわる/触」の大博覧会※
一般	580 (490)円	880 (600)円
大学生	250 (200)円	450 (250)円
高校生以下	無料	無料

※本館展示もご覧になれます。

- ()は、20名以上の団体料金、大学等の授業でご利用の方、3ヵ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金(要証明書)
- 特別展「復興を支える地域の文化」および「ユニバーサル・ミュージアム」は20名以上の学校団体(大学)については、本館展示割引観覧料相当額(大学生200円)でご覧になれます。
- 障がい者手帳をお持ちの方は付添者1名とともに、無料で観覧できます。
- 大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
- 高校生以下の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
- 「国立民族学博物館友の会」会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
- 万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

ご来館のみならず、新型コロナウイルス感染症の予防のため会期・イベント等を変更・中止する場合があります。事前にホームページでご確認ください。またオンライン予約のご来館にご協力ください。



交通のご案内 ◎大阪・万博記念公園内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」「公園東口駅」下車徒歩約15分
- バス…阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車…万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
- タクシー…万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

お問い合わせ先 TEL.06-6876-2151 FAX.06-6875-0401

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
https://www.minpaku.ac.jp



本館展示

国立民族学博物館(みんぱく)は、世界の人の暮らしや文化にふれることができる世界最大級の民族学博物館です。世界各地の衣食住に関わる生活用具や、儀礼や信仰にもちいる道具などを展示しています。



オセアニア展示



ヨーロッパ展示



アフリカ展示



南アジア展示



中国地域の文化展示



アイヌの文化展示

館内のご案内

探究ひろば 「リサーチデスク」「研究の現場から」「世界をさわる」の3つのコーナーをとおして、みんぱくの研究や展示をより詳しく知ることができます。

ビデオテーク 世界のさまざまな地域で暮らす人びとの生活や儀礼、芸能などを記録した番組を、自由に選んで視聴することができます。

みんぱく電子ガイド 展示物をみながら、映像と音声による解説が視聴できる、携帯型の展示解説装置を無料で貸し出しています。

みんぱく図書室(本館3階) 文化人類学・民族学関係の文献図書資料を所蔵しています。どなたでもご利用いただけます。
休室日:日曜日、祝日、およびみんぱく休館日

ミュージアム・ショップ 世界各国の工芸品や文化人類学・民族学に関する書籍などを多彩に取り揃えています。TEL.06-6876-3112 FAX.06-6878-8421



ミュージアム・ショップ

国立民族学博物館友の会 友の会の機関誌『季刊民族学』を発行し、毎月の友の会講演会、セミナーなどをおとして多様な文化の情報を提供します。
お問い合わせ先:千里文化財団 TEL.06-6877-8893

みんぱくゼミナール 研究者が最新の研究成果をわかりやすく講演します
毎月第3土曜日13:30～15:00(開場13:00) ●場所:講堂 ●無料 ●要事前申込
※講師・演題・開催場所は都合により変更する場合があります

第508回 4・17± 特別展関連

双葉町に就職して—学芸員の視点から
星 洋和(双葉町役場 教育総務課) 日高真吾(国立民族学博物館 教授)
双葉町の学芸員として働き始めて1年。双葉町における東日本大震災からの復興、あるいは福島第一原子力発電所の事故からの復興について、学芸員の視点からお話します。



両竹地区の諏訪神社境内に建つ津波記念碑(双葉町内、2020年撮影)

第509回 5・15± 特別展関連

郷土芸能の持つ力
小谷竜介(東北歴史博物館 主任研究員) 日高真吾(国立民族学博物館 教授)
祭りや行事において演じられる郷土芸能は、地域の人たちを結びつける力も持っています。それは東日本大震災のような大きな災害時に力を発揮します。郷土芸能の持つ力について、事例をとおして紹介します。



2012年、震災後最初の地域のお祭り(石巻市雄勝町立浜)

第510回 6・19±

ヒップホップ・モンゴリア—韻がつむぎだす現代モンゴル社会

島村一平(国立民族学博物館 准教授)
現在モンゴルでは、ヒップホップが大人気です。ラッパーたちは、貧富の格差や政治の腐敗の現実を韻を踏みながら鋭くえぐり出します。本ゼミナールでは実際に音楽を聴きながらその文化的社会的背景を考察していきます。



ヒップホップのライブ

第511回 7・17±

人はなぜ共に歌うのか?—インド北東部ナガの伝統ポリフォニーの事例から

岡田恵美(国立民族学博物館 准教授)
インド北東部の山岳民族ナガは、稀少な伝統合唱文化を伝承しています。棚田での農作業では自然と声を重ね、相互扶助の精神が歌の中に息づいています。人はなぜ共に歌うのか、この根源的な問いを取り上げます。



チャケサン・ナガの小学生と一絃琴タイ

第512回 8・21±

規則的配色が作り出す宗教空間—敦煌莫高窟の千仏壁画

末森 薫(国立民族学博物館 助教)
古代シルクロードを代表する敦煌莫高窟の洞窟は、小さな仏を並べた千仏壁画で彩られています。千仏壁画の規則的配色が作り出す視覚的特徴は、宗教空間をつくる上で欠かせないものでした。



彩色を再現した莫高窟の千仏壁画

第513回 9・18± 特別展関連

健常者とは誰か—琵琶なし芳一の話

広瀬浩二郎(国立民族学博物館 准教授)
ユニバーサル・ミュージアムとは「誰もが楽しめる博物館」を意味します。では、「誰も」とは何を指すのでしょうか。今回は怪談「耳なし芳一」を素材として、「ユニバーサル」の真意を考えます。



ユニバーサルな歴史体感ツアー(奈良県明日香村にて、2019年10月)



■特別展 **3・4木～5・18火** ■特別展示館

復興を支える地域の文化—3.11から10年

2011年の東日本大震災では、復興の原動力として「地域文化」に大きな注目がよせられました。本展示では災害からの復興を支える地域文化をめぐる活動について、東日本大震災から10年が経つ今、あらためて振り返ります。また、豊かな社会の礎となる地域文化の大切さとその継承について考えていきます。



地域で伝えられてきた被災文化財の修復



地域の復興を後押しする郷土芸能—鶯鳥神楽



岩手県釜石市に伝えられる津波碑



紙芝居原画『あの日の僕・七ヶ浜の3.11』
／社会福祉法人七ヶ浜町社会福祉協議会



カマガミサマ
／石巻市教育委員会



大阪府浪速区に伝えられる津波碑



鯨歯工芸品／(株)外房捕鯨



帆船模型／おしかホエールランド



和歌山県白浜町富田に伝えられる津波警告板
／和歌山県教育委員会



地域文化を伝える古文書の調査

■特別展 **9・2木～11・30火** ■特別展示館

ユニバーサル・ミュージアム—さわる！“触”の大博覧会

さわって体感できるアート作品が大集合！本展では「歴史にさわる」「風景にさわる」「音にさわる」などのテーマのもと、さまざまな素材と手法を用いて、“触”の可能性を追求します。展示場に足を運び、手を動かす。来館者一人一人の身体から「ユニバーサル・ミュージアム（誰もが楽しめる博物館）」が始まります。

関連イベント

- みんなく映画会** 9・23(木・祝) 世界の感触を取り戻せ！
—目の見えない者は、目に見えない物を知っている
- みんなくゼミナール** 9・18(土) 健康者とは誰か—琵琶なし芳—の話
- ウィークエンド・サロン** 9・5(日) 9・12(日)



Love Stone Project 2014-15／富長教也



触察玩具「玉送り」
／わらべ館所蔵



厚みのある時間／北川太郎



ニューホライズン／高見直宏

2021

4

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

関連イベント

- 研究公演** 3・6(土) 阪神虎舞みんぱく公演
5・8(土) じゃんがら念仏踊りみんぱく公演
- みんぱく映画会** 4・10(土) 願いと揺らぎ
4・24(土) 明日に向かって曳け
- みんぱくゼミナール** 3・20(土・祝) 牡鹿半島の民俗誌—復興キュレーション
4・17(土) 双葉町に就職して—学芸員の視点から
5・15(土) 郷土芸能の持つ力
- ウィークエンド・サロン** 4・4(日) 江戸将軍家が愛用した十日町の越後縮—古文書の解読と光学撮影調査
4・11(日) 寺社・石碑データベースの可能性
- 友の会講演会** 3・6(土) 災害を後世に伝える—記録・供養・教訓
- シンポジウム** 5・2(日) 多角的な視点から捉える地域の文化—博物館における研究の可視化・高度化

無料 シャトルバス運行 3/4(木)～5/18(火)の土・日・祝日

大阪モノレール「万博記念公園駅」
直通 国立民族学博物館

万博記念公園駅→みんぱく	みんぱく→万博記念公園駅
時 10 11 12 13 14 15	10 11 12 13 14 15 16 17
分 06 06 16 26 26	00 10 10 00
36 36 46 46 56 56	20 30 30 40 40 30
	50

運休日:平日, 4/29(木・祝), 5/1(土)～5(水・祝), 8(土), 9(日)
※万博記念公園でイベント開催の場合は臨時に運休することがあります。詳しくはホームページをご覧ください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため運行がとりやめになる場合があります。

■みんなく映画会 ●要事前申込(先着順)

願いと揺らぎ

4・10 ± 12:45～16:20(開場12:15)
本映画会では、東日本大震災の被災地となった宮城県南三陸町の波伝谷を舞台とした「願いと揺らぎ」を上映し、住民をつなぐ地域文化の役割を考えます。



映画「願いと揺らぎ」の一場面

明日に向かって曳け—石川県輪島市皆月山王祭の現在

4・24 ± 13:00～16:30(開場12:30)
本映画会では、「明日に向かって曳け」を上映し、地域文化をどのように維持・継承していくのかという課題について参加者と共有するとともに、その解決方法を考えます。



映画「明日に向かって曳け」の一場面

■研究公演 ●オンライン開催

阪神虎舞みんぱく公演

3・6 ± 13:20～15:00
阪神虎舞による実演とともに、東日本大震災から10年の経過のなかで、東北と関西を結びつけた阪神虎舞結成の物語を紹介し、災害の記憶への向き合い方について参加者とともに考えます。



廣田神社での演舞(廣田神社提供)

じゃんがら念仏踊りみんぱく公演 ●要事前申込(先着順)

5・8 ± 13:30～16:15(開場13:00)
福島県の郷土芸能で、供養の踊りでもあるじゃんがら念仏踊りの披露のほか、震災から10年間の歩みについて、演者とともに語りあいます。



コロナ禍でのじゃんがら念仏踊り(撮影:川村清志)

■シンポジウム 5・2日 13:00～16:40 ●場所:講堂

多角的な視点から捉える地域の文化—博物館における研究の可視化・高度化

東日本大震災から10年が経つ今、災害からの復興を支える地域文化をめぐる最先端の研究成果を報告し、成果をいかに可視化・高度化するのかを考えます。



ユニバーサルデザインの展示案内システムの展示

■みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう

●日曜日開催 14:30～(30～60分)(研究公演、映画会等のイベント実施日および無料観覧日を除く)
●場所:第5セミナー室など ●要展示観覧券 ●申込不要
国立民族学博物館の研究者が「みんなくの展示資料」、「調査している地域(国)の最新情報」、「現在取り組んでいる研究」について分かりやすくお話しします。
※都合により予定を変更することがあります。

展示や催しの最新情報は、ホームページをご覧ください。

■レストラン 「森の洋食 グリルみんぱく」リニューアル

国立民族学博物館内のレストランがリニューアルし、「森の洋食 グリルみんぱく」としてオープン。定番の洋食メニューやスイーツなど豊富に取り揃えています。レストラン、テイクアウトのみのご利用も可能です。定休日 国立民族学博物館休館日(毎週水曜日・祝日の場合は翌日)・年末年始
営業時間 11:00～16:30(ラストオーダー16:00) TEL.06-6310-0810

